

事例

## 地域ネットワーク活動「ふれあいネット雅び」

四天王寺福祉事業団（大阪府） 〒583-0868 大阪府羽曳野市学園前6-1-1 TEL 0729-57-3731

### 活動の概要

地域セーフティネットワークの構築を目的とします。

住民主体で編成する地域ケア推進チームを側面的にサポート。月1回開催の地域ケア推進チーム会議では、住民から要望があがった勉強会の開催、地域資源について解説した回覧板の発行、地域の見守り体制下で見つけられた事例検討会、迅速な相談、支援活動（緊急一時入所、ヘルパー利用）を行なっています。

### 法人の概要

593年、聖徳太子によって四ヶ院が創設されました。その中において悲田院は、老人や孤児など社会的弱者を住ませ、それらの方々が生きていく上での安心、安全を提供する施設でした。昭和12年、四天王寺悲田院（現四天王寺悲田院養護老人ホーム）が大阪南河内の地に再興されて後、保育所、学童保育、児童発達療育の通園施設などの施設、事業が併設され、府内他地域にも社会福祉事業を展開していきました。現在、主なものだけでも23の施設を数え、太子の四ヶ院創設趣意に則って、児童から障害、高齢の幅広い方々に安心、安全を提供しつづけています。

- 経営施設数…23
- 法人全体の年間事業収入…8,274.768千円
- 主な経営施設

病院	昭和8年設立
四天王寺悲田院	養護老人ホーム 昭和12年設立 定員300名
四天王寺悲田院	特別養護老人ホーム 昭和40年設立 定員100名
たかわし寮	養護老人ホーム 昭和24年設立 定員120名

### 実施施設の概要

- 施設名…四天王寺悲田院
- 施設種別…特別養護老人ホーム  
定員100名

### 施設の運営方針

事業団宣言

1. 私たちは四天王寺開祖聖徳太子が帰依された仏教の精神に基き人の幸せをよろこびとして福祉社会の実現を目指します。
2. 私たちは良質で信頼されるサービスを誠実に提供し安心して暮らせる地域づくりに貢献します。
3. 私たちは人の尊厳と主体的な生活を守るとともに常に安全なサービス提供に努めます。

### 活動の内容

- 活動対象者…羽曳野市民
- 活動の頻度…月1回地域ケア推進チーム会議開催。情報誌の発行2ヶ月に1回。見守り体制随時、緊急訪問、支援活動は適宜。
- 年間延利用者数…4～5,000名程度
- 活動開始年…平成13年

#### ■活動開始の背景（取り組みの経緯）

四天王寺悲田院は、児童、障害、高齢の方々を対象とした総合社会福祉施設の特徴を生かし、地域の方々を包括的に支援する活動を使命として活動を行ってきました。その悲田院も地域の一員である羽曳野市で、中学校区を1単位とし、在宅介護支援センターを事務局、市高年介護課、保健センター、医師会、薬剤師会などの専門機関が地域住民の代表的立場である校区福祉委員会を支援することで、地域セーフティネットの構築を目指す『ふれあいネット雅び』の活動が平成14年度からスタートしました。

セーフティネット構築の柱となってもらうべく、地域の区長、民生委員の方々などへ地域での見守り体制の重要性を説明し、協力を呼びかけました。それぞれの役割、方向性を共通認識とするのにかなりの時間を費やしたが、体制づくりへの賛同と協力を得ることができました。

#### ■人材・資金面等での工夫、苦慮

上記の区長、民生委員の方々との協力体制づくりに苦心しました。その他、地域セーフティネットワークを形成するにあたって、悲田院が持つ児童、障害、高齢の方々に対する施設、人材を利用することはもとより、それぞれの施設に所属する社会福祉士が、行政縦割りによる制度の狭間にある方々の支援を行なえるよう、悲田院社会福祉士会を結成し、相談援助活動、制度の勉強会などの活動を行なっています。

また、それら悲田院内各施設・人材の地域に対する総合窓口として地域支援係を創設し、児童から障害、高齢まですべての相談を受け止め、相談援助、院内外の機関・施設へのつなぎと連携、悲田院社会福祉士会へ社会福祉士の出動を要請するなどの活動を1ヶ所で行なう、ワンストップサービス体制を実施しています。

地域子育て支援センター、地域療育等支援センター、在宅介護支援センターの担当職員による地域支援担当者会議を月1回実施し、地域支援という視点で連携、協働して企画・実践活動を行なっています。

#### ■利用者の声、地域の反応

地域に住む一人暮らしの高齢者から、地域の方々による見守りネットワーク体制への感謝の投書がなされたり、在介センターを含む各施設への相談件数の増加など、地域への効果は目に見えて現れています。総じて、地域住民が自ら見守り活動や地域の問題などに積極的に取り組む意欲が向上しています。

#### ■活動の成果、地域の影響、今後の課題

活動の成果、地域の影響については上記の「利用者の声、地域の反応」の項参照。

現在、ふれあいネット雅びにおける取り組みは高齢者に関することが主ですが、障害、子育て中の親・子など地域のすべての方々へのサポートネットワークを拡大することも視野に入れ、地域の福祉力向上と関係機関との連携をすすめています。